



科学の眼

まなこ

発行: 姫路科学館 (〒671-2222 姫路市青山 1470-15 電話: 079-267-3961)
<https://www.city.himeji.lg.jp/atom/>

生物シリーズ

姫路のオサムシを探して

冬の昆虫採集 オサ掘り

Dig carabid ground beetles in hibernation

姫路科学館 学芸・普及担当 宮下直也

2月、暦の上では春ですが、やはり季節としてはまだまだ冬。野外に繰り出す足取りも重くなりがちですが、冬にしかできない昆虫採集があります。「オサ掘り」という言葉を知っていますか？昆虫の越冬態は卵、幼虫、^{さなぎ}蛹、成虫と様々ですが、オサムシは土や朽木の中に潜り込んで成虫のまま冬を越します。これを掘り出して採集する方法がオサ掘りです。

■オサムシとは

オサムシはコウチュウ目オサムシ科オサムシ亜科に分類される昆虫の総称で、漫画家・^{てづかおさむ}手塚治虫のペンネームの由来としても有名です。ほとんどの種で後翅（うしろばね）が退化しており、飛ぶことができません。このため、海や川や山によって分布が隔絶され、地域ごとに多くの種や亜種に分かれることが知られています。地表を徘徊し、^{はいかい}発達した大あごを使って他の昆虫の幼虫やミミズなどの小動物を捕食します。コウチュウは体長1cmに満たないものも多いのですが、オサムシは3cmくらいの種が多く、比較的大型と言えます（図1）。



図1 大型のクロナガオサムシ

■オサ掘り

オサムシはどこでも越冬できるわけではありません。乾燥しても水没しても死んでしまいます。土中で越冬するオサムシの場合、登山道脇などの小さな崖の中にあることが多いです（図2）。条件の良さそうな崖（図3）を見つけたら、手ぐわ（図4）などで表面を崩してオサムシを探します。「自分がオサムシな



図2 崖で越冬するマヤサンオサムシ

らどこで冬を越したいか？」を考えるのがオサ掘りの醍醐味です。朽木の中からオサムシを探す場合も同様に、適度に腐朽した柔らかい倒木や枯木を探す必要があります。

ただし、崖や朽木を崩すことは他の生物のすみかを奪う行為でもありますから、節度を持って採集しなければなりません。また、割った朽木を放置しておく、車が通る林道などの場合危険ですし、見た目の印象も良くないので、脇に寄せておくなどの配慮は必要です。マナーを守ってオサ掘りをしましょう。



図3 オサムシが越冬する崖の例



図4 採集道具（手ぐわと手袋）

■姫路のオサムシ

兵庫県には何種のオサムシが分布しているのか、過去の文献や姫路科学館収蔵標本などを調べてみると14種を数えることができました。それらのオサムシの姫路市内における記録の有無を下表に示しています。

種としては9種記録されていますが、記録の絶対数が少ないため、姫路市のオサムシ相（どの種がどこにどれくらいいるか）の調査は不十分と考えられます。また、上郡町や佐用町で記録のあるキュウシュウクロナガオサムシやアキタクロナガオサムシが姫路市で見つかる可能性もあります。みなさんもぜひオサムシを探してみてください。

表 兵庫県産オサムシの姫路市内における記録

和名	学名	姫路市内における標本・文献記録
クロカタビロオサムシ	<i>Calosoma maximowiczii</i>	○
エゾカタビロオサムシ 基亜種	<i>Calosoma chinense chinense</i>	○
マイマイカブリ 基亜種	<i>Carabus blaptoides blaptoides</i>	○
アキタクロナガオサムシ 基亜種	<i>Carabus porrecticollis porrecticollis</i>	×
セアカオサムシ	<i>Carabus tuberculosus</i>	○
オオクロナガオサムシ 近畿・中部地方亜種	<i>Carabus kumagaii nishi</i>	×
キュウシュウクロナガオサムシ 中国地方亜種	<i>Carabus kyushuensis nakatomii</i>	×
クロナガオサムシ 基亜種（図1）	<i>Carabus porocerus procerulus</i>	○
アキオサムシ 基亜種	<i>Carabus chugokuensis chugokuensis</i>	○
ダイセンオサムシ 基亜種	<i>Carabus daisen daisen</i>	×
オオオサムシ 基亜種	<i>Carabus dehaanii dehaanii</i>	○
ヒメオサムシ 淡路島四国亜種	<i>Carabus japonicus awaziensis</i>	×
マヤサンオサムシ 基亜種（図2）	<i>Carabus maiyasanus maiyasanus</i>	○
ヤコンオサムシ 基亜種	<i>Carabus yaconinus yaconinus</i>	○

■第5回生物多様性写真展「ひめじのいきもの」 2022年3月12日(土)～4月10日(日)

生物多様性はその地域の資源ですから、生物の分布は正確に把握される必要があります。姫路科学館では、姫路とその周辺で見られる生物の記録を残すため、みなさんからお寄せいただいた記録写真を一堂に展示します。※今回の作品募集は終了しました。

参考文献

木村三郎（1984）てんとうむし 271(9), 53-58.
 高橋寿郎（1998）きべりはむし 26(2), 23-30.
 高橋寿郎（1999）きべりはむし 27(1), 1-8.

森正人（2018）きべりはむし 40(2), 23-25.
 姫路市環境局環境政策室（2017）姫路市わがまち生物多様性調査報告書（伊勢地区編）
 姫路市環境局環境政策室（2018）姫路市わがまち生物多様性調査報告書（上菅地区編）